

## SDG s アンバサダー養成プログラム要項

### 1. プログラム開催目的

2019年度、本格的にSDG sを推し進めるにあたり、SDG sを具体的にどのように企業におけるビジネスに活かしていくのか先導するアンバサダーとなる人材を育成します。

### 2. 概要

全国各地JCメンバーからを募り、SDG sについて深く学び真の理解を得るため特定のプログラムを満了した者にアンバサダーの認定を行います。合宿形式による4日間のプログラムとトレーニング期間を設け、サマーコンファレンスで成果を発表し、日本JCとしての認定を受けた者が地域企業のSDG s取り組みを推進していく仕組みを構築します。プログラム内ではSDG sへの理解だけではなく、アウトプットの機会も様々な場面において準備し、プログラム受講者が各地域に戻った後もSDG sの推進を自身で行えるレベルまで引き上げるようなプログラムを構築します。

### 3. プログラム終了後の人材像

- ・SDG sのノウハウを取得し、地域の企業活動の支援を行う人物
- ・SDG sとは何かということについてわかりやすく団体内への理解浸透を行える人物
- ・SDG sを実際に社業に活かすための実際的な相談役を担う人物
- ・優良事例の情報共有を行い、情報網を構築し、情報集約を行う調整役である人物

### 4. 開催日程

2019年4月25日（木）13:00 ～ 4月28日（日）17:00

### 5. 開催場所

レクトーレ湯河原（住所：〒259-0313 神奈川県足柄下郡湯河原町鍛冶屋572-1）

※駅から会場までは最寄り新幹線停車駅のJR熱海駅より大型バスを手配いたします。

### 6. 参加費用 150,000円（飲食費・宿泊費込、交通費別）

### 7. 参加要件

- 1) 合宿形式で開催される4日間の研修プログラムに全日参加すること。
- 2) 事前課題となる書籍をプログラムまでに読み込んでくること。
- 3) プログラム修了後、自社ウェブサイトなりなりのデジタル媒体の中に必ずSDG s特設ページを設け、具体的な育成事業成果物とすること。

## 8. 支援体制

プログラム後援：外務省

プログラム修了後には、日本J CのHPにてアンバサダー紹介ページを作成し、またSDG s J o u n a lを用いてアンバサダーを発信するとともに、サマーコンファレンスにて認定式を行い、今後各地域にて活動いただく基盤を提供いたします。

普及活動を行う際は、F a c e b o o k内『SDG s B u s i n e s s P o r t a l』を情報集積・情報交換プラットフォームとして利用し、各エリアにおけるSDG s事例を共有しながら推進をしていきます。公益社団法人日本青年会議所が皆さまを支援し、各エリアにおける推進を行っていただきます。プログラム内でも今後の推進方法などを計画・策定しますので、応募段階での知識の有無は問いません。奮ってご応募ください。

## 9. 開催プログラム

	プログラム内容	時間 (分)	講師/ ファシリテーター
D a y 1	1. プログラム紹介～SDG sの歴史的背景と内容の理解	1 2 0	P. D. ピーダーセン氏
	2. 事前課題グループ内共有・他者インプット 各自の主体性醸成+内容の高度化		”
	3. SDG sアワード事例からアンバサダーの役割	1 0 5	甲木浩太郎氏
	4. SDG s 1 1、1 2：暮らし、生産・消費活動	1 0 5	佐藤博之氏
	5. 夕食時 交流会		
D a y 2	6. SDG s目標17：パートナーシップ専門家講義	1 2 0	黒田かをり氏
	7. 貧困・環境問題へのSDG s処方箋	1 2 0	阪口竜也氏
	8. SDG s目標13：気候変動専門家WS	1 2 0	末吉竹二郎氏
	9. 個々人の卒業ワークに向けたグループワーク	9 0	P. D. ピーダーセン氏
	10. 夕食時 T a b l e F o r T w oプログラム体験		安東迪子氏
D a y 3	1 1. 映像インプット：SDG s関連の動画、解説	6 0	P. D. ピーダーセン氏
	1 2. 社会課題をビジネスチャンスに	1 2 0	高橋巧一氏
	1 3. SDG sアウトプット実践講座	1 2 0	P. D. ピーダーセン氏
	1 4. SDG sトーク（グループ内で各自10分ずつ発表） 各自の主体性の向上、SDG s関連の発表経験の実績	1 2 0	P. D. ピーダーセン氏
D a y 4	1 5. バックキャストイングを学ぶ（未来のビジョンに向けた道筋をどのように描くか）	1 5 0	P. D. ピーダーセン氏
	1 6. 個々人のSDG sアンバサダー行動計画の策定 グループ内共有による高度化 今後一年の活動計画を策定し、本人の拠り所とする	1 5 0	P. D. ピーダーセン氏
	1 7. SDGアンバサダー修了式	6 0	事務局
7月	サマーコンファレンスにてプレゼンテーション		

## 10. 講師

### 【メインファシリテーター】

ピーター D ピーダーセン氏

リーダーシップ・アカデミーTACL 代表

国際シンポジウムの企画・運営、環境・CSRコンサルティングを経て現職。

日本の将来的な社会デザインと、社会と共発展できる企業のあり方をテーマに活動を行っている。

### 【チューター】

牧口奏江氏

株式会社新時代 代表取締役。広告制作会社、サステナビリティに関するコンサルティング会社勤務を経て2018年5月に株式会社 新時代 を設立し、現職に至る。専門領域は企業倫理におけるコーポレートガバナンス、リスクマネジメント、コンプライアンス。主な研究対象は倫理綱領、行動憲章、企業の社会的責任。

### 【プレゼンター陣】

末吉竹二郎氏

国連環境計画（UNEP）・金融イニシアチブ特別アドバイザーとして、「金融と地球環境」に関する数々の国際会議に参加。「責任投資原則」の普及指導など、日本企業にCSR（企業の社会的責任）推進を促している。また、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン会長へ就任され、金融界での長年の経験をもとにして、「金融と地球環境問題」をテーマに、CSR経営について講演活動や著作などを通じて啓発。

甲木浩太郎氏

外務省 地球規模課題総括課 課長。外務省におけるSDGsを総括。官民両面における幅広いSDGsに関する活動内容を把握し、SDGs達成に向けて様々な活動を主管。

黒田かをり氏

SDGs ジャパン代表理事。SDGsの達成のために、政策提言や行動、SDGsの啓発・普及、SDGsに取り組む民間企業や学界、国際機関、政府などとの連携の強化や提案・助言、SDGs達成のための調査研究などに取り組んでいる。

阪口竜也氏

フロムファースト株式会社 代表取締役。平成29年、SDGsビジネスアワード大賞受賞。普通の生活を普通にするだけで環境を取り戻し、次の世代に自然豊かな地球をつないでいくプロジェクト「みんなでみらいを」の取組みは、パリ開催のCOP21でも紹介。

高橋巧一氏

株式会社日本フードエコロジーセンター代表取締役。SDGs推進本部長（内閣総理大臣）賞受賞。循環型社会の実現を目指し、様々な社会貢献活動とビジネスを結びつけている。

佐藤博之氏

アマタ株式会社代表取締役。グリーン購入ネットワークの元事務局長。資源循環と環境戦略の立案を支援するアマタを率い、東北における資源循環社会モデル構築にも取り組む

#### 1.1. 申込みから参加までの流れ

- 1) 申込書（別添）にて送付後、応募完了メールをSDGs推進会議より送付。
- 2) 4月1日（月）～7日（日）の間に当選・落選通知をメールにて行います。  
⇒当選通知後、振込案内を送付いたします。参加費用の振り込みをお願いいたします。
- 3) 当選確定後、事前課題の書籍を参加者に郵送いたします。

1.2. 応募締切日                      2019年3月31日（日）

#### 【お問い合わせ先】SDGs推進会議

議 長	刀裨 達哉
	携帯電話                      090-5964-7326
	E-mail                      tone.tatsuya@gmail.com
副 議長	高橋 佑介
	携帯電話                      080-5185-0494
	E-mail                      ysk6417@gmail.com

※ 本募集要項は、日本JICが規定する個人情報の取扱いに基づいて作成されています。